

子育て支援事業

「カブトムシとあそぼう」

日 時 平成20年7月22日(火) 午前9時～11時
 会 場 「けいはんな記念公園」
 参加者 一般公募の親子24名(子供、15名 大人、9名)
 協力者 会員10名
 今年もたくさんのたまごが孵化し、120匹のカブトムシが成虫となりこの世に誕生しました。時間や手間をかけこの日に元気な子どもたちの手に貰われていきました。
 今年も参加された親子に元気なカブトムシをみせることが出来、関係者はほっとしました。
 その後、ビニール袋などの最小装備でご飯を炊く「サバイバル炊飯」の術を伝授しました。
 最後にビジターセンターで創作紙芝居「きよじいちゃんの子どもの頃」を披露。KCN京都(旧キネット)の撮影もあり、にぎやかに終わりました。



京丹波町シルバー人材センターで子育て支援講演会を開催



開催日：平成20年6月10日(火)
 午前10時から午後12時30分
 場所：京丹波町シルバー人材センター

講演者：◎ 紙芝居チーム：久保常代、藤井初美
 ◎ 工作チーム：長谷川 悟、北井 勝
 ◎ 事務局：浅田、藤田、大喜多



子育て支援事業に力を入られている京丹波町シルバー人材センターから講演依頼をいただき、支援者一同緊張の面持ちで精華町をスタートしました。

京丹波町SCは渡り廊下で保育所とつながっている、これまでにない斬新な配置になっていました。園児とシルバーの共存を志向するこれからの発展を感じました。

松村副理事長の挨拶をいただき、体育館へ移動しました。紙芝居「きよちゃんの初めてのつかい」と工作「紙ひこーきをとばそう」を1時間ほどかけて支援講演しました。

会場には園児約50名と先生5名、そして京丹波町SCの会員25名と職員が参加され、会場は熱気に包まれました。

次に会議室へ移動し、当センターの「子育て支援のあゆみ」を発表しました。

浅田事務局長のあいさつは設立から法人への移行時のことや「ふるさと案内」や「子育て支援」なども会員の自主的な活動で続けていること。今後も夢を広げていきたいことなど熱い想いが京丹波のシルバーの人たちを感動させました。

最後に厚生労働省の「シルバー人材センターにおける子育て支援事業」についての説明をし、「勇気の一步を踏み出すことから始まる」と締めくくりました。

